

## ■会友制度のご案内

日本物理学会は正会員（大学院生）が退会後も本会とのつながりを保ち、それにより中長期的に物理学に関心を抱く方が増加することを目的として、会員制度とは別に会友制度を設けることにいたしました。

※現在予定している内容です。今後、変更が生じる可能性もございます。変更がありましたら日本物理学会ホームページでお知らせいたします。

日本物理学会ホームページ 会友ページ <http://www.jps.or.jp/outline/kaiyu.php>

### (会友登録受付開始日)

2017年10月1日よりマイページから受付開始

### (会友登録の資格)

本会の会員を退会する時点で正会員（大学院学生）であり、かつそれまでに未納の会費がない会員。

※退会する時点で、正会員、学生会員の方は会友への登録はできません。

### (会友登録申請方法)

マイページから退会申請をされる際に希望により一度に限り登録をお申し出いただけます。

マイページの「退会申請/会友登録」メニューを開き、「会友に登録する」ボタンをクリックしてください。会友登録画面が表示されますので、氏名、生年月日、メールアドレスをご入力の上、「登録」ボタンを押してください。

※一度完了した退会申請は取り消せません。「会友に登録する」ボタンをクリックせずに退会申請だけを完了しますと、会友登録はできなくなりますのでご注意ください。

※ご登録いただくメールアドレスが有効でないといサービスを受けられなくなる可能性がございます。ご卒業が近い方は特にお気を付けてください。

### (会友への提供サービス)

- (1) 会誌電子版の閲覧
- (2) 大会参加登録費は、会員価格を適用
- (3) その他理事会が認めたサービス

### (会友費)

年間3,000円

1年分の前納制です。毎年、翌年度分の会費を12月末日までに納入ください。

ただし、年度途中で正会員（大学院学生）から退会して会友になる場合は、その年度内の会友費は発生いたしません。

※日本物理学会の年度は1月～12月です。（定款第35条）

※退会月の翌月1日が会友登録日となります。12月退会の場合は翌年1月1日が会友登録日となりますので、初年度から会友費が発生いたします。

### 会友制度開始年度の特別措置について

会友制度開始年度の特別措置といたしまして、既に日本物理学会を退会されている方からも会友登録の申請を受付いたします。

### (受付期間)

2017年10月1日～2017年12月31日（予定）

### (会友登録日)

2018年1月1日

※2018年の会友費のご請求は2018年2月頃にお送りする予定です。

2019年以降の会友費のご請求は、その前年の11月頃にお送り

いたします。

### (特別措置による会友登録の資格)

本会の会員を退会する時点で正会員（大学院学生）であった方。 ※退会した時点で、正会員、学生会員であった方は会友への登録はできません。

※登録の資格を満たすか分からない等、ご不明な点がありましたら [friends@jps.or.jp](mailto:friends@jps.or.jp)宛てにお問い合わせください。

### (特別措置による会友登録申請方法)

メールにてご申請ください。

宛 先 [friends@jps.or.jp](mailto:friends@jps.or.jp)

タイトル：特別措置による会友登録申請

本 文：特別措置による会友登録を希望します。

氏名

生年月日

メールアドレス

在籍時の会員番号（不明な場合は空欄）

## ■第73回年次大会（2018年）・講演募集掲載号

大会案内の会誌への掲載は次のとおりです。

- ・11月号：講演募集要項
- ・3月号増刊号：プログラム冊子

## ■第73回年次大会（2018年）の企画募集

第73回年次大会（2018年3月22日～25日、東京理科大学野田キャンパス）の企画を募集します。

### I. 総合講演講師候補の募集

第73回年次大会（2018年）において総合講演（2018年3月24日（土）（大会3日目）午前、野田市文化会館）を依頼したい企画をお持ちの会員は、所定の用紙により下記期日までにお申し出ください。所定の用紙は、本会ホームページ大会サイト (<http://www.jps.or.jp/activities/meetings/index.php>) から入手されるか、本会事務局にご請求ください。ご提案については、理事会で審議し決定します。なお、講演者には下記のとおり謝金、旅費を支払います。

記

提出期限：10月31日（火）

謝 金 額：30,000円（手取り）

旅 費：本会規定による金額（詳細は本会事務局まで）

### II. 領域「物理と社会」におけるシンポジウムの企画募集

物理のコミュニティ全体に関わるような問題、本会から社会に向けて発信すべき事柄等で既存の領域に含まれないテーマについて扱う領域として「物理と社会」を設けています。この領域設置の背景、当面の方針、運営方法等につきましては会誌57巻9月号710ページ「本会記事」欄をご参照ください。

お申込は下記期間中、下記URLにてお願いします。登録完了後、登録番号及びパスワードがメールで送られますので、内容をご確認ください。（受付期間中はご提案頂いた内容について何度でも修正可能です。）

記

URL: <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>

2017年9月29日（金）～11月2日（木）

### III. 招待講演・企画講演・チュートリアル講演, シンポジウムの募集

#### III-a. 招待講演・企画講演・チュートリアル講演, シンポジウムの位置づけ

招待講演, 企画講演, チュートリアル講演, シンポジウムの位置付けは以下のとおりです。

1. 招待講演: すでに成果が挙げられた研究において, その研究の中心的な役割を担った研究者に一般講演よりも長い時間で行っていただく講演。
2. 企画講演: 一般講演よりも長い時間で行う次のような講演。
  - ・ 今後成果が期待される分野の研究者による新鮮なテーマについての講演
  - ・ 国際交流を視野に入れた講演
  - ・ 各種受賞記念講演 (若手奨励賞受賞記念講演を除く)
  - ・ その他, 会員にとって魅力的な要素をもった講演
3. チュートリアル講演: 他分野の研究者および大学院生等の初学者に対する解説を主とした講演。丁寧にわかりやすく講義形式で講演していただくために, 招待・企画講演よりも長めの時間設定が可能。
4. シンポジウム講演: ある一つのテーマに沿って, そのテーマを代表する研究者に様々な角度から一般講演とは違った時間枠でしていただく一統きの講演。
5. 共催シンポジウム: 今大会より新設。新学術領域その他の研究共同体 (以下, コンソーシアム) と物理学会との共同で開催するシンポジウムで, コンソーシアムの活動状況, 研究成果について広く紹介し, 意見交換するための講演。(当該研究グループには, 共催費 (標準額は, 200,000円《消費税除く》) をご負担いただきます。)

これらはいずれも開催する領域の多くの会員が興味を持つとされるものを前提と致します。

#### III-b. 招待講演, 企画講演, チュートリアル講演, シンポジウムの規則

1. 自薦提案の禁止: 招待講演, 企画講演, チュートリアル講演を通じて, 提案者と講演者 (推薦理由に掲げる論文の共著者を含む) が同一の提案はできない。
2. 重複登壇の禁止: 招待講演, 企画講演, チュートリアル講演, シンポジウム (一般, 共催) を通じて, 趣旨説明やまとめなどの10分以内のものを除き, 講演登壇は1回とする。ただし, 特別な理由がある場合, 領域委員会の審議および理事会の承認により許可することがある。この場合, 登壇者の了解のもとで, 関連する企画の提案者の連名で, 理由書を提出すること。
3. 提案者の業務: 招待講演, 企画講演, チュートリアル講演, シンポジウム講演 (一般, 共催) の提案者は当該企画が滞りなく開催されるよう場合により座長の一人としての任を果たすとともに, 概要集原稿や会期後の報告にも責任を持って協力する。
4. シンポジウムの趣旨と各規制: シンポジウムは重要なトピックについて広く議論を進める場である。一般シンポジウムは研究機関や予算措置の取られた研究コンソーシアムなど特定研究グループの広報の場ではなく, 登壇者選定においてこの点に特に注意する必要がある。一方, 共催シンポジウムでは共催という形によりシンポジウムの趣旨は守りつつ共催研究コンソーシアムの成果発表の場とすることができる。

4-1 一般シンポジウム提案者: シンポジウム提案者は, 10分以内の「趣旨説明」または「まとめ」(以降「趣旨・総括」と略) の登壇者として加わることができる。総合討論やパネル討論等を設ける場合は, 提案者は, パネリストとしてではなく, 座長もしくは司会者という立場に加わることができる。共催シンポジウムにおいては, この限りではない。

4-2 所属重複規制: 趣旨・総括以外の一般シンポジウム講演は, 一つの所属に偏らないことを原則とし, 一つのシンポジウムで同じ部門 (学科・専攻など) から2名以上の講演者が含まれている場合は, 特別な理由がなければ認められない (特別な理由とは, 異なる研究グループに属し, 実験と理論など専門が異なる場合で, シンポジウム遂行にとって重要な講演者と判断できる場合とする。なおシンポジウムの講演者所属欄において, 所属を略称表記すると同一になってしまうものは, 違いがわかるように研究グループ名や研究室名まで記載すること)。さらに, シンポジウムにおいて, 「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇者と講演者が同一研究室であることは認められない。また, 提案者と講演登壇者が同一研究室である場合も審査の対象としないことがある。

4-3 占有時間規制: 休憩時間を含めて原則として3.5時間に収めるものとし, 4時間を超えてはならない。

#### 5. その他の約束ごと:

- 5-1) 招待講演, 企画講演, チュートリアル講演, およびシンポジウムにおける講演の (同時) 登壇者は1名に限る。
- 5-2) 講演概要集の原稿はシンポジウムの趣旨・総括も含めて各登壇者2枚までとする。
- 5-3) 提案者は, 予め, 講演者の方々に候補として推薦する旨の内諾を得ておく。(重複登壇回避のため。)
- 5-4) 海外在住の講演者の方については, 原則として提案者を通して連絡を取る。
- 5-5) 前回の大会とあまり内容の変わらない招待講演, 企画講演, チュートリアル講演ならびにシンポジウムは原則採択されない。

#### III-c. 招待講演・企画講演・チュートリアル講演, シンポジウムの提案方法

提案方法は, 素核宇ビーム領域と物性領域とで, 異なります (共催シンポジウムについては共通)。下の記述に従ってそれぞれ, 提案を募集します。なお, 提案申込書には

- i) 見込まれる聴講者数, 講演希望日程, 講演不可日等の事項を必ず記入すること (領域によっては複数の企画を並行して開催できないために講演希望日などの希望に沿えないことがあります。講演日やその他の希望がある場合は, 必要に応じて, 提案者は領域運営委員に連絡をとるようにしてください)。
- ii) 登壇者の会員番号 (非会員の場合はその旨を記入) と電子メールアドレスを必ず記入すること。

を徹底するようお願いします。

#### 1. 素核宇ビーム領域

素核宇ビーム領域における招待講演, 企画講演, チュートリアル講演, シンポジウムの企画は領域運営委員会を中心として企画された後, 素核宇領域プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され, 理事会において実施する企画が決定されます。各領域運営委員の氏名と所属は, 次のとおりです。

素粒子論領域: 進藤哲央 (工学院大学)  
山田憲和 (KEK)

素粒子実験領域：百武慶文（茨城大理）  
樋口岳雄（東大Kavli IPMU）  
南條 創（阪大理）  
理論核物理領域：土井琢身（理研）  
梅谷篤史（日本工業大）  
実験核物理領域：谷田 聖（原子力機構）  
前田幸重（宮崎大）  
宇宙線・宇宙物理領域：仙洞田雄一（弘前大）  
安東正樹（東京大）  
ビーム物理領域：原田寛之（原子力機構）  
近藤康太郎（量研機構）

## 2. 物性領域

物性関係における招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの企画を以下のとおり一般会員から公募します。提案を希望する方は，次のURLのホームページから受付期間内にお申込ください。

URL: <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>

### 2-1) 物性領域に含まれる分野

領域 1：原子分子，量子エレクトロニクス，放射線  
領域 2：プラズマ  
領域 3：磁性  
領域 4：半導体，メゾスコピック系，量子輸送  
領域 5：光物性  
領域 6：金属（液体金属，準結晶）・低温（超低温，超伝導，密度波）  
領域 7：分子性固体  
領域 8：強相関電子系  
領域 9：表面・界面，結晶成長  
領域10：構造物性（誘電体，格子欠陥，X線・粒子線，フォノン）  
領域11：物性基礎論，統計力学，流体物理，応用数学，社会経済物理

領域12：ソフトマター物理，化学物理，生物物理  
領域13：物理教育，物理学史，環境物理

### 2-2) 公募受付期間

2017年9月29日（金）～11月2日（木）

### 2-3) 提案申込方法

下記URLに受付期間中にアクセスし，お申込みください。登録が完了すると登録番号ならびにパスワードがメールで送られます。もし登録番号，パスワードがお手元に届かない場合は，登録時に入力したメールアドレスが間違っている，或いは，正常に登録されていないことが考えられますので，お問い合わせください。

受付期間中は何度でも登録番号，パスワードによって提案内容を修正できますので，期間中に入力内容に変更が生じた場合は，速やか且つ確実に修正をお願いします。

URL： <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>

### 2-4) 提案する上での注意事項

上記「III-b. 招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの規則」に従ってお申込ください。

### 2-5) 採択の手順

各領域において領域代表と領域運営委員が提案書を検討後，物性プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され，理事会において実施する企画が決定されます。各提案の採否の結果につきましては，提案者に後日通知します。

## 3. 共催シンポジウム

共催シンポジウムは，関連する領域代表を通して申し込みます。手続きは，上記物性領域のシンポジウム申し込みに準じ，同じ

URL: <https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>

より行います。共催シンポジウム一般については，

URL: [http://www.jps.or.jp/activities/meetings/joint\\_symposium/](http://www.jps.or.jp/activities/meetings/joint_symposium/)

各領域代表については，

URL: [http://www.jps.or.jp/activities/iinkai/ryoiki\\_daihyo.php](http://www.jps.or.jp/activities/iinkai/ryoiki_daihyo.php)

をご参照ください。